

第4回日本予防理学療法サテライト集会

開催趣意

第4回日本予防理学療法学会サテライト集会のテーマは「多職種連携で取り組む予防理学療法の展開」といたします。本学会では理学療法の目的を予防・治療・参加の3つに大別したとき、広く予防に関わる理学療法を研究する。そのため、予防として取り上げる領域だけでなく、二次予防、一次予防にも広げている。また、日本予防理学療法学会では2017年1月に「予防理学療法学要論」を発刊し、全てのライフステージに渡ることを発信した。そこで本サテライト集会においては、2つのシンポジウムを企画し、他学会との連携や多職種で取り組む必要性について取り上げる。シンポジウムⅠでは「理学療法士が展開する新たな予防理学療法」として、ウイメンズヘルス、軽度認知障害（MCI）、バレイ・ダンス、メンタルヘルス、そして訪問リハビリテーションなど、様々な取り組みについての実践活動事例について論じ合える場を提供したいと考えております。また、シンポジウムⅡでは「日本予防理学療法学会へ期待するもの-他学会との連携で取り組む予防医学の重要性-」として、日本整形外科学会、日本骨粗鬆症学会、日本体力医学会で活躍する側から、本学会へ期待や提言を頂く予定である。また、一般演題を40台予定し、幅の広い議論が行われることを期待する。本集会で多くの事例紹介や議論を通して、予防として領域の幅の広さや、その発展性についてそれが本集会の存在理由になるものと考えております。

第4回日本予防理学療法学会サテライト集会

集会長 藤田博暁